

⑬ Int. Cl.

識別記号

序内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)11月14日

A 61 C 17/02

A-6859-4C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 歯科用洗浄針

⑯ 特 願 昭62-111236

⑰ 出 願 昭62(1987)5月7日

⑱ 発 明 者	米 田 栄 吉	宮城県仙台市西勝山10-12
⑲ 発 明 者	池 田 耕 治	大阪府大阪市城東区東中浜2丁目4 森橋コーポ1-404
⑳ 発 明 者	辻 章	大阪府岸和田市天神山町2丁目4番10号
㉑ 出 願 人	株式会社 ニッショウ	大阪府大阪市大淀区本庄西3丁目9番3号
㉒ 出 願 人	藤沢薬品工業株式会社	大阪府大阪市東区道修町4丁目3番地
㉓ 代 理 人	弁理士 青 木 高	

明 細 書

1. 発明の名称

歯科用洗浄針

2. 発明の要旨

注射器状付け用針芯および針管からなる洗浄針において、針管が折曲自在の状態でなり、針管の先端が固定されると共に、先端部側壁に洗浄液噴出孔を有することを特徴とする歯科用洗浄針。

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

この発明は、歯科において根管形成の途中で歯牙質削片や残存有機質を除去するための根管清掃等に用いられる洗浄針に関するものであり、医療の分野で利用される。

【従来の技術】

歯科用洗浄針(以下、「洗浄針」という)は、根管形成の途中で歯牙質削片や残存有機質を除去するための根管清掃等の場合に洗浄液を供給した遠端部に取り付けられ、針の先端部を洗浄液

位に当てて洗浄液を噴出するために用いられるものである。

まっすぐな針管の先端に洗浄液噴出孔を有する従来の洗浄針では、治療すべき歯の位置や、洗浄液位の深さ等によって、注射器の傾き加減を調整しなければならず、不便であった。

この不便さを解消するものとして、針管をその先端部から1cm程度の位置において一定の角度に曲げたものが開発され、使用されている。

他方、洗浄液が削られた後の道腔に直接噴射されると、その部分の削片が根管奥部の狭小空間に入ってしまう、除去できないという問題もあった。

この点を解決するものとして、針管の先端部側壁に洗浄液噴出孔を設けたものも開発され、使用されている。

【解決すべき問題点】

上記の従来の技術のうち、前者では針管が曲げられているため、針管がまっすぐな場合に比べ奥が使いやすくなっているが、針管の側面側壁が

およびその角度が一定であるため、なお満足できるものではなかった。さらに、この洗浄針では、洗浄液噴出孔が針管の先端に設けられているため、歯牙質削片等を完全に除去し難いという前述のような問題も有していた。

また、上記の従来技術のうち、後者では針管が真っすぐであり、しかも折り曲げられないうえ、やはり使用に不便であるという前述のような問題を有していた。

〔問題点を解決するための手段〕

この発明は、上記のような問題点を解決するためになされたものであり、注射器取付け用針芯および針管からなる洗浄針において、針管が折曲自在の金属からなり、針管の先端が閉塞されると共に、先端部側壁に洗浄液噴出孔を有する歯科用洗浄針に関するものである。

〔実施例〕

以下、この発明の一実施例を示す図面に基づいてこの発明を説明する。

第1図はこの発明の洗浄針の縦断面図であり、

洗浄液を充填した注射筒の先端に取り付けて使用される。

なお、この発明の洗浄針は上記の実施例に限定されず、針管の長さおよび太さ、ならびに洗浄液噴出孔の形状および大きさ等は任意である。

洗浄液噴出孔の傾斜も特に限定されないが、2ないし3個の洗浄液噴出孔がそれぞれ異なる方向に導かれていれば、洗浄効率が高められて好ましい。

また、先端部の洗浄液噴出孔の穿たれている方向を示すための印、例えばワンポイント・マークを針芯に付せば、より一層使用に便利である。

〔効果〕

この発明の洗浄用針は、折曲自在な金属から構成されているため、洗浄を必要とする部位に従って、すなわち第2図に実施例および点線で示すように、針管の長さ方向の任意の位置において、任意の方向へ、任意の角度だけ折り曲げることができ、例えば折曲部管にも容易に挿入できるなど、使用に際して極めて便利である。

第1図(1)および針管(2)から構成されている。

針芯(1)の大きさ、形状、材質等は、従来のものと同様でよい。

針管(2)は折曲自在の金属からなり、その内部に洗浄液の通路(3)を有し、その先端は閉塞され、先端部の側壁には洗浄液噴出孔(4)(4)が針管の長さ方向に位置をずらして、横方向反対側に1個ずつ設けられている。

なお、この発明の洗浄針を構成する折曲自在な針管(2)は、例えば昭和61年実用新案登録第51、(53)号明細書に記載の方法に従って、ステンレス、スチール製のチューブを焼きなますことにより容易に得ることができ、針管(2)の先端の側壁は、焼鈍前の針管(2)の先端部側壁を内側へ徐々に曲げることにより形成することができる。また、洗浄液噴出孔(4)は、焼鈍前の針管(2)の先端部側壁を明削穿孔することにより形成することができる。

この発明の洗浄針は、従来のものと同様、10%次亜塩素酸ナトリウム液、3%過酸化水素水等の

また、縦断面の洗浄液噴出孔が針管の横方向異なる2個に設けられていれば、洗浄液が同時に異なる方向へ噴出され、洗浄効率がよい。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の洗浄針の縦断面図であり、第2図は使用例を示す側面図である。

1……針芯；2……針管；3……洗浄液通路；4……洗浄液噴出孔

特許出願人 株式会社 ニッソー

横浜瀬島工業株式会社

代理人 弁護士 青木 義典

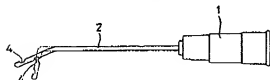
昭和62年6月17日

図面の浄写(

第1図



第2図



特許庁長官 小川邦英殿

1. 事件の表示

昭和62年特許願第111236号

2. 発明の名称

食料用洗淨針

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

大阪市大淀区本庄西3丁目3番3号

株式会社ニッショー

代表者 佐野 実

大阪市東区道徳町4丁目3番地

(524)産沢商品工業株式会社

代表者 藤 原 友吉郎

4. 代理人

大阪市淀川区加島2丁目1番6号

産沢商品工業株式会社 大阪工場内

(6300)弁理士 青 木 高

通



5. 補正命令の日付

昭和62年7月1日

昭和62年7月28日(発送日)

6. 補正の対象

図面

7. 補正の内容

適正な図面を提出します。

8. 添付書類の目録

(1)図面

1通

以上

DENTAL WASHING NEEDLE

特許公報番号 JP63275339 (A)
 公報発行日 1988-11-14
 発明者: YONEDA EIKICHI; IKEDA KOJI; TSUJI AKIRA
 出願人 NISSHO KK; FUJISAWA PHARMACEUTICAL CO
 分類:
 一国際: A61C5/02; A61C17/02; A61C5/02; A61C17/00; (IPC1-7): A61C17/02
 一欧州: A61C5/02; A61C17/02
 出願番号 JP19870111236 19870507
 優先権主張番号: JP19870111236 19870507

他の公開

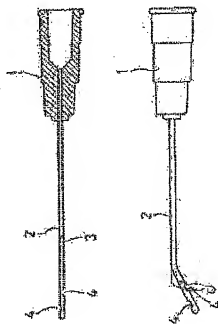
図 JP6073530 (B)
 図 JP1943770 (C)
 図 EP0290011 (A2)
 図 EP0290011 (A3)
 図 EP0290011 (B1)

次へ>>

要約 JP 63275339 (A)

PURPOSE: To obtain a dental washing needle easy to use, by constituting the washing needle so that a needle tube is made of a freely bendable metal and the leading end thereof is closed and a washing solution jet orifice is provided to the side wall of the leading end part of said needle tube.

CONSTITUTION: A washing needle is constituted of a needle base 1 and a needle tube 2. The needle tube 2 is composed of a freely bendable metal and has a washing solution passage 3 provided therein and the leading end thereof is closed and washing solution jet orifices 4 are provided to the side wall of the leading end part of the needle tube 2 one at a time on the opposite sides thereof in the lateral direction so as to be positionally shifted in the longitudinal direction of the needle tube.; This washing needle is mounted to the leading end of a syringe barrel, which is filled with the washing solution such as a 10% sodium hypochlorite solution or 3% hydrogen peroxide solution, before use. The washing needle can be bent at an arbitrary angle in an arbitrary direction at the arbitrary position of the needle tube in the longitudinal direction according to an area necessary for washing. Therefore, the washing needle can be also easily inserted in a curved root canal and is extremely convenient in use.



esp@cenet データベースから供給されたデータ— Worldwide